

○E A I Cの概要

1. 発足と発展：

E A I Cの第1回会合は、1962年10月18日に、第一生命社の会議室において、東アジア各地域から140名の参加者が集まり開催された。最近の大会の参加者は1,000名規模に至ることもあり、アジアで最大の国際保険会議に発展を遂げてきた。また、参加者も、欧州、米国、オーストラリア等、アジア以外の地域にまで広がり、真の意味での国際会議の特徴を備えてきた。

2. 目的：

あらゆる種類の保険分野における国際協力の促進と発展を図ることを目的に、次に掲げる活動を行う。E A I Cは、非政治的、非政府的、非宗教的および非営利の組織とする（法人格はない）。

- (1) 会員間のあらゆる種類の保険に関する意見および情報の交換
- (2) 会員間の相互理解および友好関係の育成・促進
- (3) 東アジアの経済状況に適合する保険理論と実務に関する共通関心事項の議論

3. 会員： 法人および個人が会員になることができ、以下の所在地もしくは住所地に応じて正会員または準会員に区分される。非政府的な会議であることから、国ではなく都市ベースで会員資格の区分を行っている。

(1) 正会員：

バンドルスリブガワン、バンコク、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マカオ、マニラ、プノンペン、ソウル、シンガポール、台北、東京

(2) 準会員：

オーストラリア、バングラデシュ、ブータン、デンマーク、フィジー、インド、パキスタン、パプア・ニューギニア、スリランカ、英国、米国

E A I C登録会員数（2025年8月現在）

| | 法人会員 | 個人会員 |
|-----|--------------|--------------|
| 正会員 | 926社（東京：80社） | 560人（東京：22人） |
| 準会員 | 32社 | 73人 |
| 合計 | 958社 | 633人 |

※E A I C事務局に登録されている法人数および個人の人数。

4. 会員総会：

E A I Cの方針および目的の決定、規約の批准、次期会員総会の時期・会期・開催地の決定、会長・事務局長等の主要ポストに係る人事の選出等を担うE A I Cの最高議決機関。会員総会は少なくとも2年に1回開催される。

5. 理事会：

会員総会の議決事項となっている以外の事項について幅広い権限を持つ機関。理事会は、理事会会長の決定した日時・場所にて年に1度開催される。

6. 会議開催状況：

| 開催年 | 開催都市 | 開催年 | 開催都市 |
|-------------|----------|--------------------|------------|
| 1962年（第1回） | 東京 | 1994年（第17回） | ソウル |
| 1964年（第2回） | マニラ | 1996年（第18回） | シンガポール |
| 1966年（第3回） | バンコク | 1998年（第19回） | マカオ |
| 1968年（第4回） | ソウル | 2000年（第20回） | マニラ |
| 1970年（第5回） | 台北 | 2002年（第21回） | 東京 |
| 1972年（第6回） | クアラルンプール | 2004年（第22回） | バンコク |
| 1974年（第7回） | ジャカルタ | 2006年（第23回） | バンドルスリブガワン |
| 1976年（第8回） | ソウル | 2008年（第24回） | 香港 |
| 1978年（第9回） | シンガポール | 2010年（第25回） | ジャカルタ |
| 1980年（第10回） | マニラ | 2012年（第26回） | クアラルンプール |
| 1982年（第11回） | 東京 | 2014年（第27回） | 台北 |
| 1984年（第12回） | バンコク | 2016年（第28回） | マカオ |
| 1986年（第13回） | 香港 | 2018年（第29回） | マニラ |
| 1988年（第14回） | クアラルンプール | 2022年 | ソウル（開催中止）※ |
| 1990年（第15回） | 台北 | 2024年（第30回） | 香港 |
| 1992年（第16回） | ジャカルタ | 2026年（第31回） | 東京 |

※ ソウル大会は当初2020年に開催が予定されていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、2022年への開催延期を検討していたところ、ソウル事務局の判断により開催中止となった。なお2022年には別途、E A I C 60周年記念イベントがオンラインで開催された。